

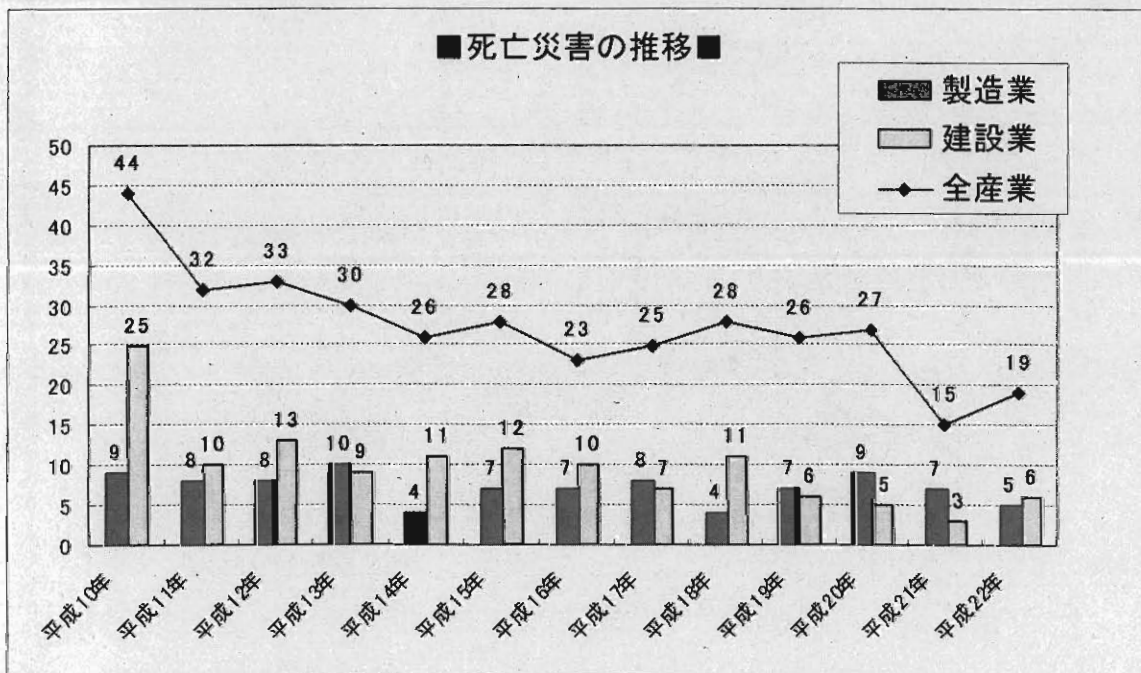
担 当	愛媛労働局労働基準部 安全衛生課	
	安全衛生課長	高田 義春
	主任産業安全専門官	伊藤 一夫
	電話089-935-5204 (内線470)	

## 平成22年死亡災害の発生状況（速報）

愛媛労働局

### 1 死亡者数の推移

県下の死亡者数は、昭和45年の97人を最多に、その後、減少に転じ、昭和55年には初めて50人を下回り、さらに平成14年には30人を下回り、以後7年間20人台で推移していたが、平成21年は15人、22年は19人と2年連続20人を下回った。



## 2 業種別の発生状況

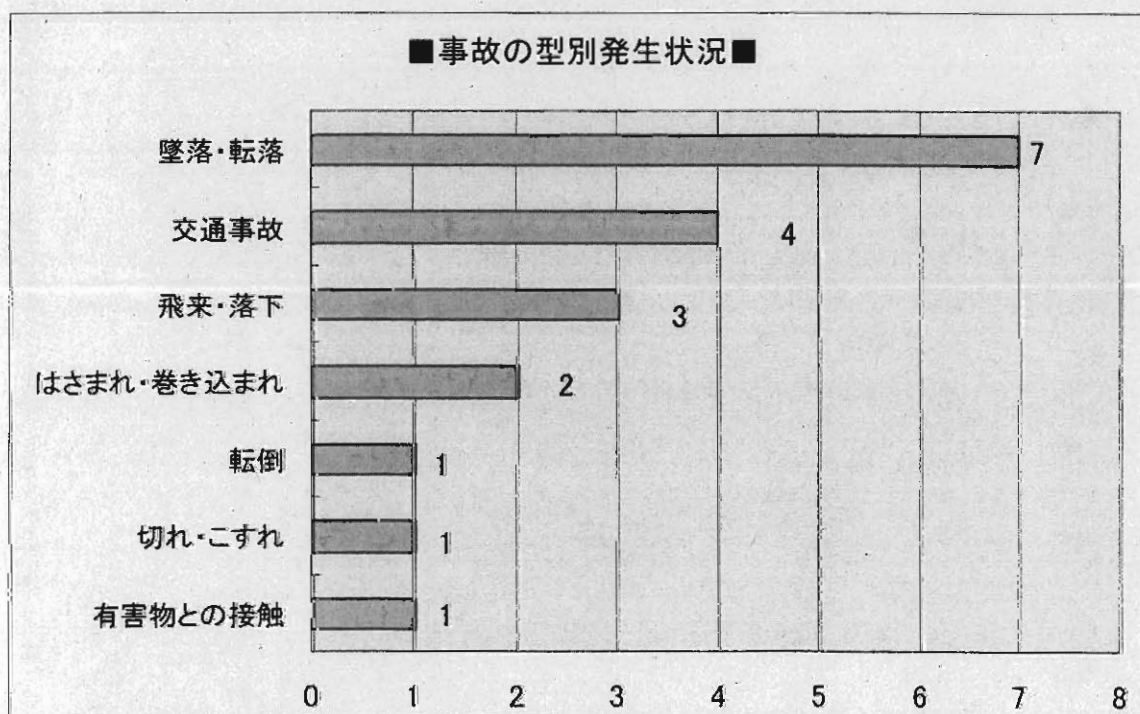
「建設業 6 人（全産業に占める比率は 31.6%、以下同じ）」が最も多く前年の 3 人から 3 人の増加となっている。次いで「製造業 5 人（26.3%）」が前年の 7 人から 2 人の減少となっている。製造業、建設業以外の業種では、「道路貨物運送業 2 人（10.5%）」、「林業 2 人（10.5%）」となっている。

■業種別の発生状況■ (人)

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年
製造業	7	8	4	7	9	7	5
建設業	10	7	11	6	5	3	6
道路貨物運送業	1	1	1	3	4	0	2
林業	1	0	2	2	0	2	2
商業	3	4	3	2	2	3	1
その他	1	5	7	6	7	0	3
計	23	25	28	26	27	15	19

## 3 事故の型別の発生状況

「墜落・転落」災害が 7 人（36.8%）と最も多く、次いで「交通事故」災害が 4 人（21.1%）、「飛来・落下」災害が 3 人（15.8%）、「はさまれ・巻き込まれ」災害が 2 人（10.5%）となっている。



# 平成22年 死亡災害発生状況

愛媛労働局

業種別	署別	松山	新居浜	今治	八幡浜	宇和島	合計	同期				
								21年	20年	19年	18年	17年
製造業		1	2	2	0	0	5	7	9	7	4	8
造船業		0	0	2	0	0	2	3	3	2	2	2
その他の製造業		1	2	0	0	0	3	4	6	5	2	6
建設業		3	0	0	1	2	6	3	4	6	11	7
土木工事業		1	0	0	1	1	3	3	2	2	3	3
建築工事業		1	0	0	0	1	2	0	1	3	2	4
その他の建設業		1	0	0	0	0	1	0	1	1	6	0
運輸交通業		0	1	0	1	0	2	0	6	3	0	1
道路貨物運送業		0	1	0	1	0	2	0	4	3	0	1
港湾運送業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
林業		0	1	0	1	0	2	2	0	2	2	0
その他の事業		0	1	1	1	1	4	3	6	6	7	8
合計		4	5	3	4	3	19	15	25	24	27	24
昨年同期		3	8	2	2	0	15					

年間 死亡者数	15	27	26	28	25
------------	----	----	----	----	----

# 平成22年死亡災害発生状況一覧表

愛媛労働局

番号	所轄署	発生日時	業種	被災者			発注者	発生状況	事故の型 起因物
				性別	年齢	職種			
1	松山	1月8日 16時00分	03-03-01 電気通信工事業	男	64	土工	市	労働者5名にて防災無線用の支柱の据付作業中、支柱の先端部となる8・9基目（結合済）の部材取付けのため、支柱にマスト（伸縮式はしご）を結束し、当該マストの先端部に滑車を掛けてワイヤロープの先をドラグショベルに固定して当該部材を吊り上げていたところ、部材が傾くと共に、マストの中央付近が部材の荷重により折れたため、被災者が折れたマストと共に高さ約1.1mの位置から地面に墜落し、被災したものである。	01 墜落・転落 219 その他の 動カクレーン等
2	新居浜	2月10日 9時00分	15-01-02 産業廃棄物処理業	男	25	作業者・ 技能者	—	フラフ燃料（紙くず、繊維くず、廃プラスチックをフィルム状に破砕し燃料化したもの）製造工程において、原料（廃プラスチック）をはい積みしていた近くで清掃作業中の被災者に、はい（1.2m×1.2m×0.9m、重さ340kg）2個が落下し、被災者に当たったもの。	04 飛来・落下 611 荷姿の物
3	宇和島	2月15日 22時30分	03-01-06 道路建設工事業	男	56	管理者	国	国道56号線から宇和島道路への進入道路（松山方面行き上り車線）において、道路舗装工事のためのアスファルト路面剥ぎ取り作業準備のため、道路内でスプレーによるマーキングを行っていた労働者（現場代理人）が、津島方面から後退してきたダンプトラックの左後輪に轢かれ即死した。災害発生時は、工事のため作業現場の道路は通行止めとしていた。	07 はさまれ・ 巻き込まれ 221 トラック
4	新居浜	3月24日 12時25分	04-03-01 一般貨物自動車運送業	男	61	貨物自動 車運転者	—	トレーラーのトラクター（牽引車）とシャーシ（被牽引車）の接続作業中、本体の接続の後、エアホースをつないだところ、ゆるい傾斜のため車体が動き出し、慌てて運転席に乗り込もうとした被災者が、他のトレーラーとの間に挟まれ死亡した。	07 はさまれ・ 巻き込まれ 221 トラック

4

# 平成22年死亡災害発生状況一覧表

愛媛労働局

番号	所轄署	発生日時	業種	被災者			発注者	発生状況	事故の型 起因物
				性別	年齢	職種			
5	新居浜	4月6日 12時15分	06-02-09 林業	男	41	作業者・ 技能者	愛媛県	被災者は同僚と共に間伐作業を行っていたものであるが、正午を過ぎても休憩場所に被災者が戻ってこなかったため、同僚が捜しに行ったところ、落石で胸部を挟まれている被災者を発見した。	04 飛来・落下 711 地山・岩 石
6	宇和島	4月29日 3時55分	17-02-09 その他の運転者	女	59	その他の 運転者	—	被災者は、社用車を運転して同僚が代行運転する顧客の車を追走していたところ、警察車両に追跡されていた車が後方から被災者の車を追い越そうとした際に対向車線側の電柱に激突し同車は大破した。その際、大破した車の発電機（約5kg）が飛んで被災者の運転する車を直撃したものの。	17 交通事故 (道路) 231 乗用車、 バス、バイク
7	松山	5月31日 14時40分	03-01-06 道路建設工事業	男	63	車両系建 設機械運 転者	—	被災者が一人で、ドラグ・ショベルを使用して、作業道（幅員約4.5m）の開設のため、掘削及び立木の取り除き作業をしていたところ、路肩が崩れ、ドラグ・ショベルとともに約30m下の既設林道まで転落し、立木の間に身体を挟まれた状態で発見されたもの。	01 墜落、転落 142 掘削用機 械
8	今治	7月5日 5時12分	08-02-05 新聞販売業	男	61	商業	—	バイク(50cc)により新聞配達を行っていた労働者が、県道沿いの配達先に新聞を配達した後、バイクに乗り駐車場から国道に進入したとき、県道156号を右側より直進してきた軽四ワゴン車に激突されたもの。	17 交通事故 (道路) 231 乗用車、 バス、バイク

## 平成22年死亡災害発生状況一覧表

愛媛労働局

番号	所轄署	発生日時	業種	被災者			発注者	発生状況	愛媛労働局 事故の型 起因物
				性別	年齢	職種			
9	松山	7月5日 9時30分	03-02-09 その他の建築工事業	男	61	屋根ふき 工	民間	同僚等3名で工場建屋のスレート屋根の雨漏り補修の事前点検のため屋根に上がって確認作業を行っていた。点検箇所は数箇所あり、点検箇所の移動の際には母屋等の屋根の構造梁を伝って移動していたが、構造梁の間隔を見誤りスレート部に足をかけスレートを踏み抜き、約9.3m下の鉄筋部材等の上に墜落し被災したものの。	01 墜落、転落 415 屋根、はり、もや、けた、合掌
10	八幡浜	7月9日 14時39分	06-02-09 その他の林業	男	20	その他の 作業員	民間	6名で下刈作業中、刈払機で下草を刈りながら移動していた際、被災者から1.7m離れた位置で作業していた隣の労働者の刈払機の刃が杉の木に触れて反発し、その際刃が被災者の右大腿部にあたり被災者は出血性ショックにより死亡した。	08 切れ、こすれ 169 その他の一般動力機械
11	八幡浜	7月9日 0時00分	04-03-01 一般貨物自動車運送業	男	59	貨物自動車 運転手	—	被災者は、会社所有の大型トラック（最大積載量12.3トン）を運転し、大阪府の事業場で荷を積み込み、配送先となる栃木県にある事業場に向かった。途中、長野県の中央自動車道西宮線入り線を走行中、上飯田バス停付近にて、仮眠のため停車中であった大型トラックに追突し胸部打撲により死亡した。	17 交通事故 (道路) 221トラック
12	新居浜	9月14日 10時15分	01-12-09 その他の金属製品製造業	男	25	その他の 製造工	—	被災者は、9月14日に発注者の工場建屋内で、倒れているところを発見され医療機関に搬送されたが意識不明のまま9月20日に死亡した。被災者はエアラインマスクを着用して塗装作業を行おうとしていたものと推定され、エアラインマスクのホースは溶接作業時に使用するアルゴンガスの配管に接続されていたため被災者はアルゴンガスを吸引し窒息したものと推定される。	12 有害物等との接触 379 その他の用具

## 平成22年死亡災害発生状況一覧表

愛媛労働局

番号	所轄署	発生日時	業種	被災者			発注者	発生状況	愛媛労働局 事故の型 起因物
				性別	年齢	職種			
13	松山	10月5日 14時50分	01-17-03 クリーニング業	男	47	配達員	—	被災者はクリーニング済みの品物を店舗に配送するため普通貨物車を運転し、国道317号線を走行中、センターラインをはみ出し、対向してきた路線バスと正面衝突した。	17 交通事故 221 トラック
14	宇和島	10月25日 11時40分	03-02-02 木造家屋建築工事業	男	68	左官	民間	被災者は他の作業員4名と一般家屋の屋根瓦葺き替え作業を行っていたが、雨が降ってきたため、屋根（勾配約30度）にビニールシートを張る作業を行っていたところ、誤って足を滑らせ屋根上を滑り落ち、軒先から約4.2m下の地上に墜落した。	01 墜落、転落 415 屋根、はり、もや、けた、合掌
15	八幡浜	10月18日 15時55分	03-01-08 砂防工事業	男	63	土工	市	被災者は手持ち式削岩機を使用して岩盤の破碎作業中、削岩機が岩盤上で滑り、その際体勢を崩してうつ伏せに転倒した。この時顔面が木の根株の先（直径1～2cm）に当たり、右目の下を切創し病院にて診断を受けたところ、くも膜下出血と診断され、治療を受けていたものであるが、負傷を原因とする脳梗塞で10月31日死亡した。	02 転倒 149 その他の建設機械等
16	今治	11月12日 9時28分	01-15-01 造船業	男	60	電気溶接工	—	修繕ドック内において、ドックゲートの解体作業中、解体中のドックゲート上部と修繕ドック右舷側との間に掛け渡していたタラップ（長さ約4m）が滑り落ちタラップ上にいた被災者が、タラップとともに約5m墜落した。	01 墜落、転落 413 階段、桟橋

7

## 平成22年死亡災害発生状況一覧表

愛媛労働局

番号	所轄署	発生日時	業種	被災者			発注者	発生状況	事故の型 起因物
				性別	年齢	職種			
17	八幡浜	11月14日 14時50分	06-01-01 農業	男	73	作業者	—	椎茸栽培のために使用するクヌギの木の伐採作業を4名で行っており、同僚が高さ約16mのクヌギの木をチェーンソーで伐倒していたところ、木の幹の中心部分が腐っていたため、予定していた伐倒方向とは異なる方向に木が倒れ、退避していた被災者の頭部に落下した。	04 飛来・落下 712 立木等
18	今治	12月3日 14時00分	01-15-01 造船業	男	45	作業者	—	艀装船セカンドデッキ部に数カ所あるハッチの周囲に仮設していた手摺りを以前に溶断撤去していた個所において、被災者はグラインダーによりハッチの仮設手すりを取り除いた部分の研磨仕上げを行うため、セカンドデッキにてグラインダーを探していたところ1カ所のみ開口（約15.3m×3.4m）となっていたハッチから約7.4m下のホールドに墜落した。	01 墜落・転落 414 開口部
19	新居浜	12月25日 11時25分	01-16-01 電気業	男	54	運転者	—	中央制御室天井照明カバーの清掃及び蛍光灯取り換え作業中、作業台（高さ1.8m）の天場上で照明カバーを取り付けようとしてバランスを崩し後ろ向きに転落した後頭部を負傷。入院治療を受けていたが平成23年1月7日に死亡した。	01 墜落・転落 371 はしご等



# 平成22年 業種別労働災害発生状況

愛媛労働局

業種別	局		増減		
	22年	21年	件数	増減率	
全産業	(19) 1415	(15) 1337	78	5.8%	
製造業	(5) 460	(7) 438	22	5.0%	
製 造 業	食料品製造業	113	90	23	25.6%
	繊維工業	14	14		
	その他の繊維製品	1		1	
	木材・木製品製造業	25	31	-6	-19.4%
	家具・装備品製造業	6	4	2	50.0%
	パルプ・紙製造業	22	(1) 21	1	4.8%
	紙加工品製造業	24	(1) 33	-9	-27.3%
	印刷・製本業	3	4	-1	-25.0%
	化学工業	15	12	3	25.0%
	窯業土石製品製造業	15	16	-1	-6.3%
	鉄鋼業	6	3	3	100.0%
	非鉄金属製造業	4	2	2	100.0%
	金属製品製造業	(1) 62	(1) 62		
	一般機械器具製造業	40	(1) 44	-4	-9.1%
	電気機械器具製造業	8	11	-3	-27.3%
輸送用機械器具製造業	(2) 62	(3) 62			
電気・ガス・水道業	(1) 1	1			
その他の製造業	(1) 39	28	11	39.3%	
鉱業	10	10			
建設業	(6) 189	(3) 169	20	11.8%	
土 木 工 事 業	土木工事業	(3) 60	(3) 64	-4	-6.3%
	建築工事業	(2) 92	93	-1	-1.1%
	うち木造家屋建築工事業	(1) 32	29	3	10.3%
	その他の建設業	(1) 37	12	25	208.3%
鉄道・道路旅客業	10	13	-3	-23.1%	
道路貨物運送業	(2) 179	152	27	17.8%	
陸上貨物取扱業	4	4			
港湾運送業	4	6	-2	-33.3%	
農業	(1) 27	26	1	3.8%	
林業	(2) 64	(2) 57	7	12.3%	
畜産・水産業	25	21	4	19.0%	
商業	(1) 137	(3) 126	11	8.7%	
金融広告業	23	21	2	9.5%	
映画・演劇業					
通信業	25	29	-4	-13.8%	
教育研究	4	5	-1	-20.0%	
保健衛生業	95	99	-4	-4.0%	
接客娯楽業	54	79	-25	-31.6%	
清掃と畜舎	(1) 44	43	1	2.3%	
官公署	1	1			
その他の事業	(1) 60	38	22	57.9%	

★ ( ) 内は、死亡者数を表し内数。